

ベイスロース錠を服用される患者さまへ

食後の過血糖を改善する糖尿病のくすりが処方されています。以下の点にご注意ください。



ベイスロース錠
0.2mg



ベイスロース錠
0.3mg



(1) この薬は食事の直前にお飲みください。

ごはんやパン等の食べ物とまざりあって効くくすりですので、**食事の直前**にお飲みください。もし食事前に飲み忘れたときには食事中にお飲みください。食後または空腹時にお飲みになると効果がおちます。

(2) 低血糖症を起こすことがあります。

このくすりと他の糖尿病のくすりを併用した場合に、危険な低血糖症を起こすことがあります。

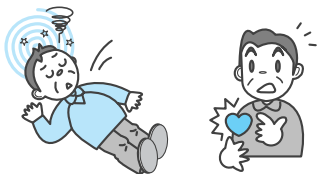
このくすりは砂糖の消化や吸収を遅らせます。他の糖尿病のくすりによる低血糖症に効果のある砂糖や飴玉は、このくすりをお飲みの時は効果がありません。**必ずブドウ糖**をとって下さい。

(3) 不快な症状が気になる場合は主治医に相談してください。

低血糖症

・低血糖症とは

血液中の糖分がすくなくなった状態で、異常な空腹感、脱力感、手指のふるえ、冷汗、動悸等が出現したり、体がだるい、生あくび、目の焦点が合わない、頭重感、考えがまとまらない、おかしい行動、性格の変化、急に腹が立つなどの症状がでる場合もあります。ひどい場合には意識がなくなる事があります。低血糖症状は個人によって症状の出方が違い、同じ人では、だいたい決まっていますので、自分の低血糖の症状の特徴を知っておくことが大切です。これらの症状は血糖を上げることにより速やかに消失します。



・低血糖症が起ったら

低血糖症状を感じたらすぐ、**ブドウ糖約10g**を飲んで下さい。**ブドウ糖**はポケットやバッグ、引出しなどすぐ手のとどく所に持っていて下さい。あめ玉、氷砂糖やチョコレートなどは効果が出ません。低血糖症状が起きたら落ち着いてすぐに糖分を補給して、安静にして下さい。

ブドウ糖

・低血糖症を起こさないために

低血糖症を予防するために主治医の指導を守り、くすりの量や飲み方、また食事療法・運動療法はきちんとお守りください。食事時間が遅れたり、運動や労働が過剰になったり、また空腹時の激しい運動は避けるようにしてください。

